

# なみなみ通信

福岡県水産海洋技術センター情報誌

なみなみ通信は、センターと各研究所からの情報を、漁業者や県民の方にお知らせする情報誌です。

## V O L . 6 8

発行 / 平成 29 年 12 月



第 37 回全国豊かな海づくり大会福岡大会 式典行事

### 調査情報

- ・ 海況情報 ..... 2
- ・ 有明海でアサリ資源量が増大 ..... 2

### 研究情報

- ・ 有明海福岡県海域での渦鞭毛藻類  
アカシオ サンガイネア赤潮について ..... 3

### なみなみニュース

- ・ 第 37 回全国豊かな海づくり大会福岡大会 開催 ..... 4
- ・ 内水面漁業の復興に向けて ..... 6
- ・ センター加工実験棟 リニューアル ..... 6
- ・ 平成 29 年度「おめで鯛まつり」開催 ..... 7
- ・ 京築 神楽と食の祭典 2017「京築 祭りごっそう」開催 ..... 7

### 研究員紹介

- ・ 豊前海研究所 技師 黒川 皓平 ..... 8

### 普及だより

- ・ 有明海区研究連合会が第 67 回浅海増殖研究発表全国大会で  
水産庁長官賞を受賞 ..... 8

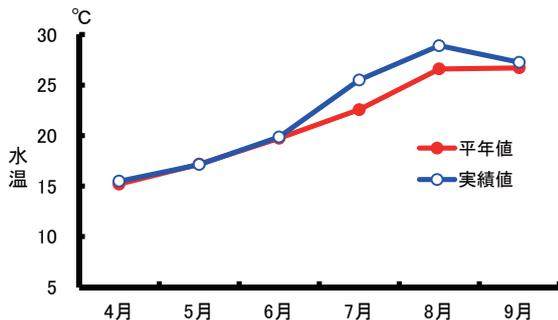
# 調査情報

## 海況情報

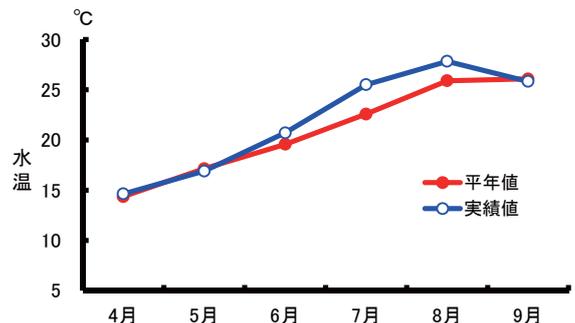
4～9月の表層水温は、筑前海の沖合域では、4～6月は平年並みでしたが、7月は甚だ高め、8月はかなり高め、9月はやや高めとなりました。沿岸域では、4、5月が平年並みでしたが、6月はかなり高め、7月は甚だ高め、8月はやや高めとなり、9月は平年並みに戻りました。

有明海では、4月は平年並みでしたが、5月にやや高め、6月は平年並みとなりました。その後、7月はかなり高めとなりましたが、8月は平年並みに戻り、9月はかなり低めとなりました。

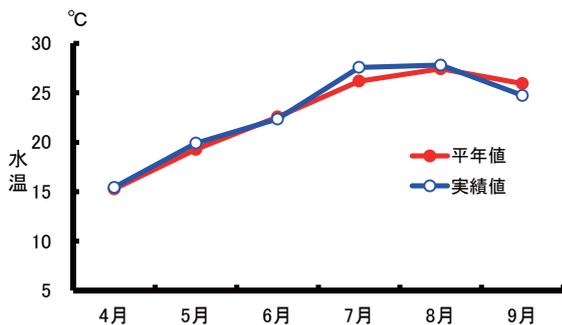
豊前海では、4月は平年並みでしたが、5～8月はかなり高めとなり、その後9月は、やや低めとなりました。



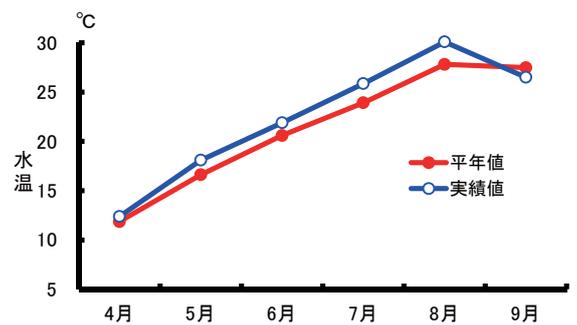
筑前海沖合域の表層水温



筑前海沿岸域の表層水温



有明海の表層水温



豊前海の表層水温

## 有明海でアサリ資源量が増大

県では、有明海の漁場環境の改善を図るため、覆砂事業を実施しています。数年前より、この覆砂漁場を中心に大量のアサリ稚貝が発生しました。

有明海漁連では、これらの稚貝を育成するため、県の指導のもと、保護区の設定や適正な生息密度となるように稚貝の移殖を行うなど資源管理に取り組み、その結果、多くのアサリが出荷サイズにまで成長しています。

さらに、有明海漁連では、大切に育ててきたアサリを適正に評価してもらおうと、入札による共同販売を開始し、単価向上にも繋がっています。

また、今年10月に県が行ったアサリの資源調査では、推定資源量は1万トンを超えるまでに増加するとともに、今年春に生まれた稚貝も確認されました。

今後ともアサリが安定して水揚げされるよう、県では漁業者による資源管理の取組を支援していきます。



集荷されたアサリ

(有明海研究所)

# 研究情報

## 有明海福岡県海域での渦鞭毛藻類アカシオ サンガイネア赤潮について

有明海福岡県地先でプランクトンが増殖し、赤潮が発生すると、ノリに必要な栄養塩をプランクトンが吸収し、ノリ養殖に影響を及ぼします。これまで、有明海の赤潮形成種はスケルトネマ、キートセロス等の珪藻が主体でしたが、近年、渦鞭毛藻の赤潮発生頻度が高まっていることから、その生態を調査しました。

渦鞭毛藻のアカシオ サンガイネアは、細胞サイズが比較的大きく、鞭毛を持ち運動能力が優れているため、図1に示すように自ら遊泳することから、広範囲で赤潮を形成します。平成28年秋季には、アカシオ サンガイネアの赤潮が97日間継続し、この種による赤潮で過去最も長い継続日数となったことから、海水中の栄養塩濃度が低下し、ノリ養殖秋芽網期に色落ち被害が発生しました。有明海福岡県地先で、この種単独の赤潮でノリ色落ち被害が発生したのは、初めての事例となりました。

研究所では、今後も定例的な海洋調査を実施し、プランクトンの出現状況や海水の栄養塩等を調べ、適切な養殖指導を行っていきます。

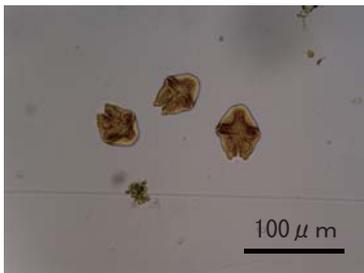


写真1 アカシオ サンガイネア

表1 ノリ養殖時期のアカシオ サンガイネア赤潮の発生状況

調査年	赤潮発生期間	継続日数	最大細胞数 (cells/ml)	漁業被害
H15年	10月14日 ~ 11月4日	22日	1,200	無し
	11月17日 ~ 12月23日	37日	1,200	無し
H16年	11月29日 ~ 1月14日	47日	380	無し
H17年	10月26日 ~ 11月6日	12日	240	無し
H18年	10月30日 ~ 11月4日	6日	600	無し
H26年	10月20日 ~ 11月10日	22日	650	無し
H27年	10月8日 ~ 10月30日	23日	543	無し
H28年	10月26日 ~ 1月30日	97日	638	有り(ノリ色落ち)

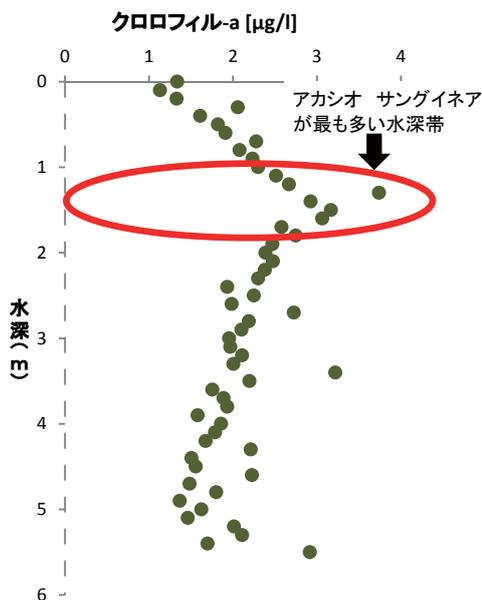


図1 クロロフィル-aの鉛直分布

クロロフィル-a：植物が持つ色素で植物プランクトン量の指標となる

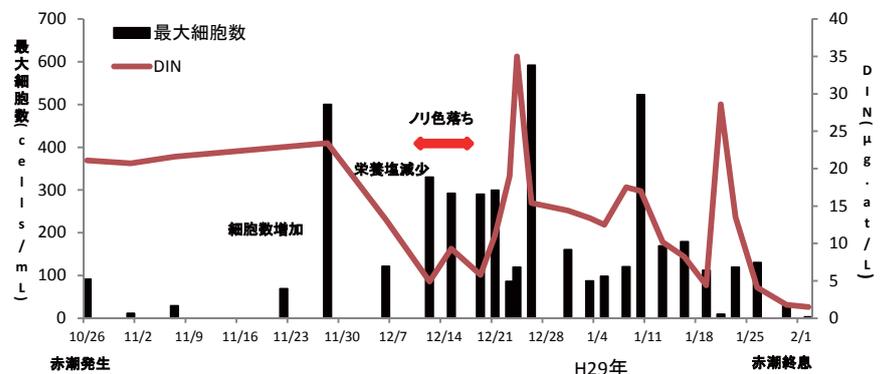


図2 平成28年10月～平成29年1月の細胞数と栄養塩DIN濃度

(有明海研究所)

# なみなみニュース

## 第37回全国豊かな海づくり大会福岡大会 開催

10月28、29日、全国豊かな海づくり大会福岡大会が、「育もう 海 人 地域 みんなの未来」をテーマとして、宗像市をメイン会場に開催されました。

全国豊かな海づくり大会は、「水産資源の保護・管理と海や河川の環境保全の大切さを広く伝えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて漁業の振興と発展を図ること」を目的に、例年、天皇皇后両陛下御臨席の下、開催されている国民的行事であり、本県での開催は初めてです。

29日午前、宗像ユリックス本館で開催した式典行事では、天皇皇后両陛下が御臨席され、「豊かな海づくり」に功績のあった団体の表彰、川・海・水産業をテーマとした最優秀作文の発表、3海区・内水面に放流される稚魚等の漁業者へのお手渡し、3海区の若手漁業者によるメッセージ発表などを行い、豊かな海を次の世代に引き継ぐことを決議しました。

29日午後、宗像市の鐘崎漁港で予定していた漁船による海上パレードや稚魚の放流などを行う海上歓迎・放流行事は、台風による荒天のため中止となりました。



最優秀作文発表



3海区の若手漁業者のメッセージ発表

### 県内3団体が「豊かな海づくり功績団体表彰」の各部門で受賞

本大会において、県内の3団体が「豊かな海づくり」に功績があった団体として表彰を受けました。栽培漁業部門で「福岡有明海漁業協同組合連合会」、資源管理型漁業部門で「福岡県ふぐ延縄漁業連絡協議会」が海づくり大会会長賞を、漁場・環境保全部門で「黄金川を守る会」が環境大臣賞を受賞しました。

「福岡有明海漁業協同組合連合会」は、ガザミやアサリの種苗放流と資源管理を組み合わせた取組や、クルマエビの他県と連携した広域的な栽培漁業の取組などが評価されました。

「福岡県ふぐ延縄漁業連絡協議会」は、再放流サイズの引き上げや操業日数の削減等、他県の先頭に立ち、長年にわたり資源管理を推進してきた点が評価されました。

「黄金川を守る会」は、地区住民すべてで、朝倉市を流れる黄金川の環境保全と、そこに自生する絶滅危惧種スイゼンジノリの保護に取り組んだ点が評価されました。

大会の式典行事において、「福岡県ふぐ延縄漁業連絡協議会」の中村会長が受賞者代表として登壇し、表彰を受けました。



表彰の様子



福岡県ふぐ延縄漁業連絡協議会  
中村会長（左）

## 海づくり大会 関連行事

県内5会場（宗像市、福岡市、柳川市、豊前市、久留米市）で開催した関連行事では、台風による荒天のため、一部の催しが中止となりましたが、式典行事の映像中継やお手渡し魚の記念放流、県産農林水産物とその加工品の販売、福岡県の海の幸が味わえる「ふくおか海の幸グランプリ」などが行われました。

大会を通じて、多くの県民や県外からの参加者に対し、農林水産物を始めとする福岡県の魅力を発信しました。

### メイン（宗像）会場 宗像ユリックス



ステージイベントの様子



福岡海洋少年団が水色の羽根募金（漁船海難遺児育英会）を実施

### 筑前海会場 天神中央公園



「ふくおか海の幸グランプリ」でグランプリ賞を「漁師のみせ極みバーガー」が受賞

### 有明海会場 むつごろうランド



大会 PR ブースの様子

### 豊前海会場 うみてらす豊前



豊前海産魚介の直売

### 内水面会場 道の駅くるめ、筑後川河川敷



式典行事で天皇皇后両陛下からお手渡しされたオイカワの記念放流

## 内水面漁業の復興に向けて

県内各地で大きな被害をもたらした平成29年7月九州北部豪雨では、漁業においても筑後川のアユ産卵場への土砂流入や、黄金川の増水によるスイゼンジノリの流失などの被害が発生しました。

県では、これら水産資源の早期回復を図り、漁業者の漁業への意欲が失われないよう、筑後川や矢部川におけるアユの受精卵放流や、黄金川へのスイゼンジノリの元種放流などに、全力で取り組んでいます。

また、今回の豪雨では、内水面研究所も被害を受けましたが、漁業関係者による土砂の撤去など、多大なるご協力を賜りましたことを、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



筑後川におけるアユの受精卵放流の様子  
(平成29年9～10月に実施)



アユの受精卵

## センター加工実験棟 リニューアル

平成9年度に建設した当センターの加工実験棟は、水産物の利用加工技術の開発、普及のほか、漁業者等が加工品の開発に使うオープンラボ、各種研修やイベントなど幅広く利用されてきました。

近年、食品の安全性の向上と品質管理への社会的な要請が高まっています。本県水産業の6次産業化を推進することを目的に、加工実験棟のさらなる機能向上のため、施設整備を行いました。

加工実験棟及び包装室の出入口を通常のドアからスイングドアに変更することで、施設の密閉度がさらに上がり、衛生状態の保持機能が向上しました。また、入口の段差をなくし、バリアフリー化して、部屋の出入りや資材の搬入搬出など、利用者の利便性向上を図りました。

さらに、加熱食品を冷却せずに真空パックできる高温真空包装機を導入することにより、加工方法の選択の幅が広がり、最適な商品開発が可能となりました。

リニューアルしたオープンラボを、新たな水産加工品開発に是非ご活用下さい。



リニューアルされた加工実験棟

## 平成29年度「おめで鯛まつり」開催

11月25日に、センターで、毎年恒例となった一般公開イベント「おめで鯛まつり」を開催し、今年も1,568名と多くの方々に来場していただきました。

イベントでは、県民の皆さんに、楽しく水産業についての理解を深めてもらうため、研究成果の紹介の他、プランクトンの観察、パエリア風タコ飯などの県産水産物の試食、鯉釣り体験などを実施しました。また、今回初めて開催した「家庭で使えるロープワーク講座」では、多くの参加者が、海上作業で行う独特の結び方を楽しんでいました。



家庭で使えるロープワーク講座



鯉釣り体験の様子

## 京築 神楽と食の祭典 2017「京築 祭りごっそう」開催

11月11日に、行橋市総合公園で、「京築 祭りごっそう」が開催され、豊前海研究所からタッチングプールと研究成果パネル等を出展しました。

このイベントは、京築地域内外の皆さんに京築の良さをPRするためのイベントで、京築の特産品、加工品、飲食物の販売や京築神楽の公演もあり、さらに行橋産業祭との同時開催ということで、午前中には小川知事の視察もあるなど、朝から大変多くの人で賑わいました。

タッチングプールでは、普段触れる機会の少ない様々な海の生き物を前に、子供たちの歓声は一日中途切れることなく、「面白かった」「また来たい」といった声を多く聞くことができました。今回のイベントが、海や川の生き物に興味を持っていただくきっかけになればと思います。



イベントを視察する小川知事



子供達で賑わうタッチングプール

## 研究員紹介

### 豊前海研究所 技師 黒川 皓平

はじめまして、新規採用で豊前海研究所に配属されました黒川皓平（こうへい）と申します。出身は福岡市西区の今宿で、幼少の頃は水産海洋技術センターのイベントに毎回参加していました。自分に海や水産業のすばらしさを教えてくれた水産職員の一員になれたことを、大変うれしく思います。

現在は水産資源の管理などを担当しており、分からないことだらけの中で、先輩たちに助けをもらいながら充実した毎日を送っています。少しの気のゆるみが命取りとなる海上の作業では厳しい注意をうけることもあり、反省することも多いですが、大好きな海の上での調査はとても興味深いことばかりです。

趣味はバレーボールで、毎週、田川や大分の中津まで通って体を動かしています。また、最近一人暮らしが寂しくなり、「女王アリ」を飼ってみたところ、先輩方に大変気持ち悪がられました。福岡県の水産業に恩返しができるようがんばりますので、これからよろしくお願いたします。



## 普及だより

### 有明海区研究連合会が第67回浅海増殖研究発表全国大会で水産庁長官賞を受賞

6月7日に千葉県で第67回浅海増殖研究発表全国大会（浅海増殖研究中央協議会主催）が開催されました。福岡県からは、有明海区研究連合会の平川久志氏（大和漁協）が「安定生産を目指した採苗時の重ね網枚数の検討」を発表し、水産庁長官賞を受賞しました。

発表では、重ね網枚数の違いによる芽付きの状況や労働時間等のメリット・デメリットをまとめ、効率的な採苗・育苗の方法について検討した結果を報告しました。

今回の研究により、良い種網を作るには、重ね網枚数が30枚よりも15枚の方が、採苗時の芽付きが均等、ノリの生長が良いなど多くの点で優れているということを明らかにしたことが評価され、今回の受賞となりました。



「水産庁長官賞」を受賞  
（左から2人目が発表者の平川氏）

<編集発行> 福岡県水産海洋技術センター企画管理部企画情報課  
〒819-0165 福岡市西区今津1141番地1  
TEL 092-806-5251 FAX 092-806-5223  
センターホームページ <http://www.sea-net.pref.fukuoka.jp/>  
携帯電話対応 <http://www.sea-net.pref.fukuoka.jp/mobile/>